

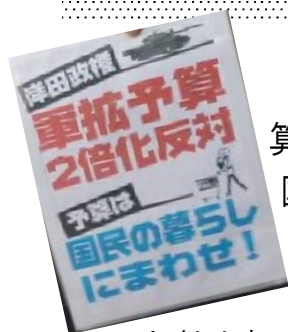
安全な地元農産物を活用して 学校給食を無償に！

全国で広がる給食費無償化

「義務教育は無償のはず。教科書と同じように給食費も無料に」この声が広がり全国254自治体が無料。青森市は4月から無償化。埼玉県は5自治体が無償化。葛飾区や市川市など人口40万人を超える都市でも4月から給食費が無償になります。

非正規雇用やシングル家庭も増え、給食費無償化は子育て世代の強い願いです。また安心・安全な地元野菜やお米を給食に取り入れましょう。

税金はミサイルより暮らしに



岸田首相は国会にかけず、防衛予算の2倍化、その財源としての増税と国債発行を勝手に決め、「戦争する国づくり」に突き進んでいます。

しかし世論調査では「軍拡反対」が半数を超え、「軍拡より物価対策！ 子育て支援を！」の声が日増しに高まっています。

来年度の防衛費6兆8千億円の半分で大学授業料無償化や児童手当の延長、学校給食費無償化ができます。

県知事宛ての署名にご協力ください。



県内の給食費

○全額無料

滑川町、東秩父村、小鹿野町、美里町、神川町

○第3子以降無料などの減免

戸田市、坂戸市、越生町、小川町、吉見町、ときがわ町、秩父市、越生町、皆野町、熊谷市、上尾市

○「地方創生臨時交付金」等を活用して、令和4年度減免又は補助

熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、加須市、本庄市、春日部市、羽生市、鴻巣市、北本市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、白岡市、戸田市、志木市、和光市、新座市、久喜市など

